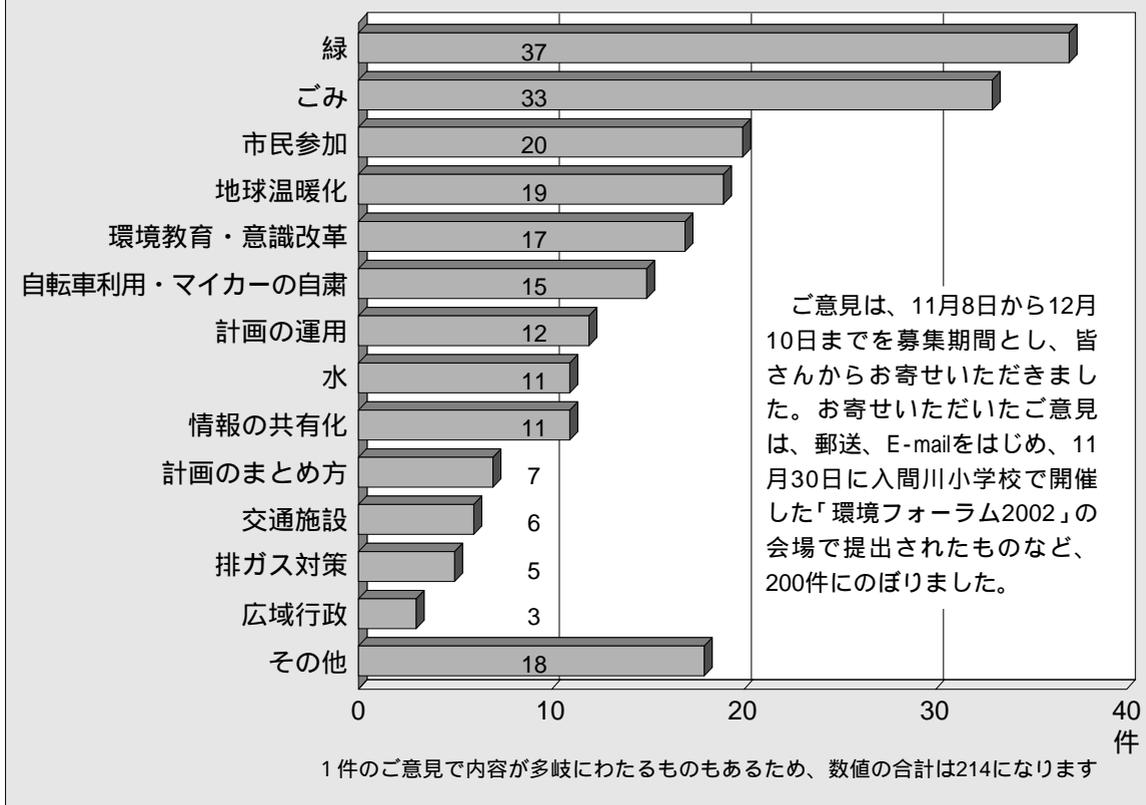


新・環境基本計画 みどりを友とし地球にやさしい都市・さやま<sup>まち</sup>を目指して

# 皆さんのイメージ・意見は「緑」「水」「市民参加」

皆さんからお寄せいただいたご意見200件の視点（グラフ1）



市では現在、「新・環境基本計画」の策定を進めています。「この計画は、これからの狭山市の環境への取り組みの道しるべとなるものです。計画が、市民皆さんの声を反映させたよりよいものになるよう、広報さやま11月10日号で4つの策定方針をお知らせし、その方針に対するご意見を募集したところ、寄せられたご意見は200件にもなりました。たくさんのご意見、ありがとうございます。ごさいました。今月は、皆さんからお寄せいただいたご意見の概要をお知らせします。

## お寄せいただいたご意見は200件

皆さんからお寄せいただいたご意見を内容ごとに分類したものが上のグラフ1です。特に上位3つの「緑」「ごみ」「市民参加」を合わせると90件、全体の42・1%にもなります。このことから、身の回りの環境や日常生活、計画に関心を持つ方が多いことが分かります。

次頁からは、設問ごとに、お寄せいただいたご意見を抜粋して紹介します。



昨年11月30日に入間川小学校講堂で開催した「環境フォーラム2002」では、意見交換が活発に行われました

新・環境基本計画の策定に向けて(意見募集の結果)



緑につつまれた市街地・四季の移り変わりとともに自然との共生が生まれます

「新・環境基本計画」4つの策定方針

1. 狭山市の環境の将来像を具体的に示します
2. 実効性ある仕組みを整えます
3. 行政施策では「地球温暖化対策」を強化します
4. 重点的・戦略的に進めるプロジェクトを示します

狭山市の環境は人と自然との共生から

設問1

市の環境の将来像につながる具体的なイメージは何ですか

武蔵野の林をわたる風の音、林に降る雨の音、小鳥の声、川の水音、明るい子ども声…  
桜並木のある遊歩道や動植物の住みやすい環境を育成して楽しむ

自転車で出かけるのが好きになる街さやま

奥武蔵、奥多摩の山々に、遠く富士の嶺がすつきり眺望できる澄んだ大気

など、34件のご意見が寄せられました。緑水、大気など、自然に関するものが23件で、68%という高い割合を占めています(グラフ2)。

これらのご意見は、狭山市の望ましい環境イメージ

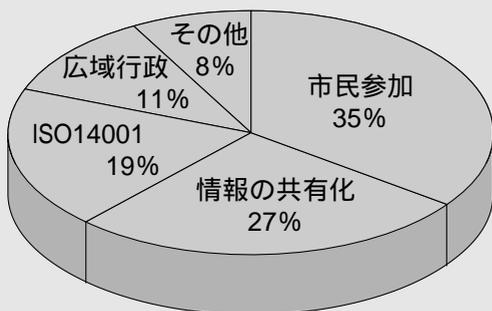
イメージを実現する4つの基本目標や環境ビジョンを作成する考え方として参考にさせていただいています。

設問2

皆さんにとって分かりやすい実効性ある仕組みはどんなことですか

基本計画の実施状況を見守り監視・監督する市民団体の育成が必要。環境対策に目標値を定め、達成の度合いを常に市民が評価する制度を設けるフィールドワークやゲームを取り入れ、若い世代が参加できる催しを企画する  
計画・実施・成果・検証・情報を市民と共有する行政組織  
ごみ捨て防止条例は施行されても実施されていない。このようなことのないよう市民ボランティアの活用を  
など、26件のご意見が寄せられました。市民参加、環境情報など情報の共有化、ISO14001に関するものなどが21件で、81%を占めています(グラフ3)。  
今後の環境問題への取り組みは、市民・事業者・行政の協働の取り組みが必要です。そして、協働の取り組みを進めるためには、

分かりやすい実効性がある仕組み(グラフ3)



市の環境の将来像に繋がるイメージ(グラフ2)

